

2024年度(総合型選抜)AO選抜入学試験 生命科学部「探究活動評価方式」

1. 実施状況

(1) 志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻等	志願者数	最終合格者数
応用化学科	0	0
生物工学科	5	3
生命情報学科	5	2
生命医科学科	2	1
計	12	6

(2) 本入学試験の目的

本入学試験では、次のような者を積極的に評価し、受け入れることを目的としました。

- ・高等学校等での探究的な学習、課題研究・自主研究等への取組みを通じて、科学に関する課題研究・自主研究等の遂行能力、実験結果解析能力、プレゼンテーション能力、考察力、コミュニケーション能力を身に付けようという意欲を持っている。
- ・生命科学部の各分野に強い関心を持ち、当該分野の諸課題を追究・解決しようという意欲を持っている。
- ・入学後、生命科学部での学びの上に、各分野における興味・関心を大学入学後にさらに発展させようという意欲を持っている。
- ・卒業後、生命科学部に関連する分野において、国際的に通用する研究者・技術者になりたいという意欲を備えている。

2. 試験内容

(1) 書類選考

エントリーシート、志望理由書、活動実績報告書

(2) プレゼンテーションと質疑応答

高等学校等で取り組んだ探究的な学習、課題研究・自主研究等についての10分程度のプレゼンテーションならびに、プレゼンテーションに対する他者からの質問への応答および他者のプレゼンテーションに対する質問の実施。

3. 出題の意図

(1) 書類選考

エントリーシート、志望理由書、活動実績報告書より、高等学校等での学習面の取組みや、志望理由、入学後の展望について確認することを目的としました。活動実績報告書では、高等学校等で取り組んだ探究的な学習、課題研究・自主研究等の活動が、科学の基礎的な知識に基づいて論理的に考察されているかについて確認することを目的としました。

(2) プレゼンテーションと質疑応答

プレゼンテーションでは、探究的な学習、課題研究・自主研究等に関する要約または補足が的確であるか、他者の質問に対する応答が的確であるか、および、これらが科学的思考に基づいているか等を確認することを目的としました。質疑応答では、他者のプレゼンテーションに対する、質問の思考力、的確性を確認することを目的としました。

4. 評価のポイント

以下の(1)と(2)を総合的に評価しました。

(1) 書類選考

エントリーシートと志望理由書より、高等学校等での学習面の取り組みや学習意欲・関心等、総合的に評価を行いました。特に志望理由に関しては、志望学科の分野への関心の高さを重視し、入学後の展望について評価しました。

(2) プレゼンテーションと質疑応答

プレゼンテーションでは、要約や補足が的確かどうか、かつ科学の基礎知識および科学的思考に基づいているかどうかをポイントとして評価しました。また、質疑応答では、他の受験生や選考委員からの質問に対する応答が科学的根拠に基づいて的確かつ論理的に説明されているかを評価のポイントとしました。また他者のプレゼンテーションに対する質疑では、傾聴力や質問の的確性に加え、柔軟な思考力を有しているかを評価のポイントとしました。

5. 解答状況

プレゼンテーションでは、探究的な学習、課題研究・自主研究等について、発表および資料がいずれも論理的にわかりやすく構成されていました。プレゼンテーション後の質疑応答に関しては、様々な視点から積極的に質問が行われ、これに対しては、科学的根拠や実験結果などの事実に基づき的確な回答および補足説明がなされていました。他方で、プレゼンテーションおよび質疑応答において科学的思考や論理性が十分でない場合や、基礎的な科学知識が不足している場合、複数人での探究活動で受験生本人の役割が不明確な場合には、選考委員から指摘をした点もありました。

6. 次年度の受験生へのアドバイス

生命科学は総合科学ともいわれ、研究対象やテーマに応じて、幅広く多様な科学の知識を活用します。高等学校等で実施した課題研究や自主研究も探究をしていくと、一つの分野に収まらず、物理学、化学、生物学、農学、工学、医科学、薬学、情報、科学全体に広がっていきます。しかしながら、高等学校で学習する内容からも考察できることはたくさんあります。そのために、地道に日々の学習を大切に、広い視点から物事を捉えることが大切です。生命科学部では、意欲ある皆さまからの志願を期待しています。

なお、生命科学部のAO選抜には、次年度から「UNITE Program（学部指定単元 AI 学習プログラム）」を活用した「基盤科目学習方式」が加わる予定です。とにかく学ぶ意欲はあるという皆さま、こちらも検討してみてください。

以上